



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2019

No. 3 (2019年5月16日発行)

## 高1 SGHリレー講座

### フィールドワーク入門～羅針盤となる仮説をつくろう～

東洋大学 国際学部 国際地域学科 助教 柏崎 梢 氏

2019年4月25日(木)、高校1年生は、東洋大学の柏崎梢先生をお迎えし、ワークショップの形でフィールドワーク入門の講演をしていただきました。昨年に続き2回目の講演です。本当にありがとうございます。

1年生は8人でのグループ活動は初めてでしたが、**クラス横断**のグループにもかかわらず、すぐに打ち解け協力してポスターを作り上げていきました。グループワークが始まると少しずつ意見を交わすようになり、40分という短い時間でしたが、素晴らしいポスターを作成することができました。また、ポスターセッションでは、それを上手に説明する者を多く見かけることができ、人前で臆せず発表をおこなうことができる生徒がいることを頼もしく感じました。



初めに行われたイントロダクションでは、フィールドワークで、**五感**を使い**一次データ**を集めることの大切さを教えていただきました。自分の足で動き、自分の肌で感じたものがとても大切だということでした。データの収集法としてインタビュー、アンケート、観察、計測・測定のメリット・デメリットなども教えていただきました。

今回の柏崎先生からの課題は「**佐野の地域資源を活用して移住者または外国人観光客を増やす**」というもので、「誰を対象に」、「何を地域資源として選び」、「どのようにしたら課題を解決に近づけるか」というものでした。下に示すように仮説を考えるうえで大事な点をしっかり示していただきました。生徒たちは今後の地域課題研究に向けて、協働性を構築する第1歩を歩みだすことができました。

柏崎先生の資料より  
フィールドワークプラン

仮説	「 「 「 移住者 / 外国人観光客 増える!	」を 」したら 」なので、 は	※ <b>地域資源</b> ※ <b>アイディア</b> ※ <b>想像力・経験談</b> ※ <b>ターゲット</b> に要注意
----	-------------------------------------	--------------------------	--



当日の流れ

13:55-14:20 イントロダクション

14:15-15:00 グループワーク

「佐野の地域資源を活用して移住者または外国人観光客を増やす」をテーマに、グループとして提案を行うためにどのような調査をする必要があるかを考える。

15:05-15:45 ポスターセッション

グループメンバーを2つにわけ、20分交代でポスターの説明を行う。

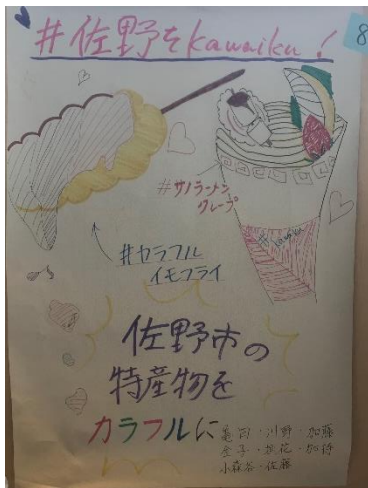
15:45-15:55 まとめ 評価表を記入する。

生徒評価 **1位** 24 票

8 班

(亀田、川野、加藤、金子、垣花、加持、小森谷、佐藤)

# 佐野を Kawaii!



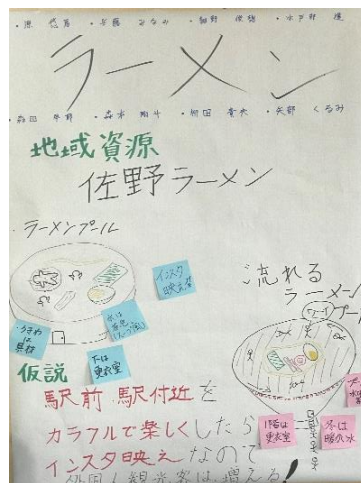
インスタを利用すると拡散もたくさんできるし、日本だけでなく外国の人も見られるので効率の良い手段だ。

生徒評価 **2位** 23 票

18 班

(原、兵藤、細野、水戸部、森田、森本、柳田、矢部)

ラーメン



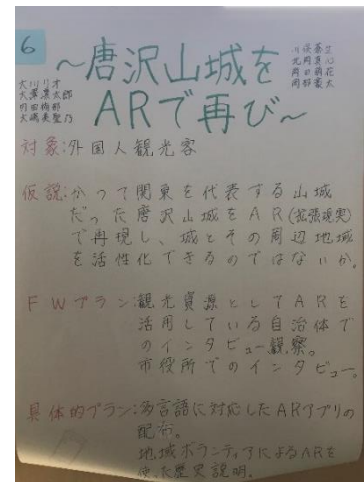
ラーメンに似せたフルを作るのは、発想にもなかったし、外国人だけでなく、国内からも注目を浴びるだろう。

生徒評価 **3位** 18 票

6 班

(岡田、岡部、内田、大澤、大川、大嶋、川俣、北岡)

～唐沢山城を AR で再び～



唐沢山城を AR で再現するという発想がよい。唐沢山城を AR で再現すれば外国人も多く来ると思う。

